会計名称 款 項 目 事業 細事業 担当部局 平成21年度予算 一般会計 04 教育委員会事務局 01 10 01 担当課等 外国語指導助手招致事業 細事業名 教育総務課

整理番号 教総 4

■ 事務事業評価

PLAN	基本方針	(政策)	Ⅳ 生涯学習都市				
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	② 学校教育の充実				
	施策方針						
	(どのような目的で事業を実施するか)	小中学校でのタ	ト国語教育及び国際理解教育の促進	平成26年度 事業の効果目	これが田ナギナか ベキスギ	市内全小中学校で英語指導助手による活動を実施	

PO 平成21年度 事業の実績 「何を対象に、何を対象に、何をしたか」 自治体国際化協会のJETプログラムによるあっせんを受け、6人の英語指導助手を招致・採用し、市内6つの拠点中学校へ配置。小中学校の児童生徒への英語教育を行った。特に平成21年度から小学校において新学習指導要領による英語活動が実施されたため、小学校での取り組みが増えた。 平成21年度 事業の効果 があったか。できるだけ指標と数値で記入)

CHECK				
CHECK	目標道	達成度・・・DO(平成21年度事業の9 効果目標)の達成に向け		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の に進捗したか
	0	〇 進捗している(できている)		
		▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成 21年度からは学校数などをふまえ町域を超えて有効に活動できた。
評価		× 遅れている(できていない)		
	効率性	生・・・DO(平成21年度事業の実績、	あるし	\は効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
		〇 削減の余地がなかった		
	0	▲ 少し削減の余地があった	理山	必要最小限の経費で行っている。
	~	× 削減の余地があった	4年四	必要取り収め性質で行うでいる。

	ACTION				<u> </u>				
L	ACTION	事業に	内容の方向性						
			A 現状維持						
		Α	B 内容の見直し		引続き英語指導助手を招致・採用し、小中学校での英語教育を推進していく。				
	改善改善		C 統廃合·休止·終了		C0.70				
	以普	事業規模の方向性							
			A 事業拡大						
	В	В	B 現状維持	理由	児童生徒への英語教育を継続して行っていく。				
			C 事業縮小						
			A 事業拡大 B 現状維持	理由	児童生徒への英語教育を継続して行っていく。				

●平成21年度決算

į	歳出				歳入	
	節 金額(千円)			項目	名称	金額(千円)
	1	22,071		国庫支出金		
	4	2,955		府支出金		
	7	238	財	起債		
予算科目	8	120	源内	分担金·負担金		
	9	526	訳	その他		
	11-12	41				
	14-18	36				
	19	748		一般財源		26,735
事業費合計		26,735		合計		26,735

●平成22年度予算

事業費合計

心口口口(区对生	TIPIE	17 07 11世 28 7 3 里 1							
平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)							
平成22年度 事業の効果目標 数値で記入)									
歳出				歳入					
	節	金額(千円)		項目		名称	金額(千円)		
				国庫支出金					
				府支出金					
			財源	起信	責				
予算科目			内	分技	旦金•負担金				
			訳	その	D他				
				— <u>А</u>	设財源				

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
十成四十段了异	一般会計	10	01	02	03	01
細事業名	指導主事設置事業					

担当部局 教育委員会事務局 担当課等 学校教育課 整理番号

■ 事務事業評価

評価

改善

PLAN 学 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	(政策)	IV 生涯学習都市 ② 学校教育の充実					
(刑刑至平川四)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成 5	学校、地域の	学校、地域の安全確保		6 地域に開かれた学校づくり	
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	学校教育の 門的事項に関	充実・振興を図るため、指導主事を配置し、学校教育全般にわたり専 する指示と指導を行う。	平成26年 事業の効果	度 (平成26年度ま うな効果をだる け指標と数値	けか。できるだ		

1

PR 21年度 事業の実績 (何を対象に、 指導主事12人(本庁に6人、地域公民館に6人)を配置し、市内の各幼稚園及び小中学校に対し、学校 教育全般にわたる専門的事項について、その識見と経験を生かした指示及び指導ができた。 (実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入) 具体的な数値指標の設定は困難であるが、教育指導者としての豊富な経験を生かした 適切な指導・助言により、学校・学級経営、授業改善、児童生徒指導、保護者対応など 学校運営の円滑な推進に寄与している。

CHECK 目標達成度・・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の

効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

	0	削減の余地がなかった	
\circ	lack	少し削減の余地があった],

理由 条例等に基づく指導主事報酬や費用弁償、社会保険料等が経費の大部分であり、コスト削減の余地は無い。

ACTION 事業内容の方向性

× 削減の余地があった

事業規模の方向性

 A 事業拡大
 学校再配置計画と学校教育改革構想を推進するため、指導主事の増 員が必要となっている。

●平成21年度決質

	●「然と「干及バッ						
١	į	歳出				歳入	
I		節 金額(千円)			項目	名称	金額(千円)
١		1	23,976		国庫支出金		
		4	3,293		府支出金		
١		9	1,326	財	起債		
١	予算科目	11	10	源内	分担金·負担金		
١				訳	その他		
١							
ı							
ı					一般財源		28,605
	事業費合計		28,605		合計		28,605

●亚世00年度又智

●平成22年度予算	昇						
総合計画(後期基	本計画	i)の施策方針					
平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)					
平成22年度 事業の効果目標 数値で記入)							
j	歳出		歳入				
	節	金額(千円)			項目	名称	金額(千円)
				国	庫支出金		

j	裁出				歳入	
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
				国庫支出金		
				府支出金		
			財源	起債		
予算科目			源 内	分担金·負担金		
			訳	その他		
				一般財源		
事業費合計				合計		

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 10
 01
 02
 04
 01

 細事業名
 学校保健事業

担当部局 教育委員会事務局 担当課等 学校教育課

整理番号 学教 2

■ 事務事業評価

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		IV 生涯学習都市 ② 学校教育の充実				
	施策方針		3 学力の向上と心身の育成				
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	学校教育の円	全法に基づき、幼児児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、 滑な実施とその成果の確保に資する。 、小中学校の幼児児童生徒の事故災害について災害給付を行う。	平成26年原 事業の効果	度 (平成26年度までに、どの。 うな効果をだすか。できるが け指標と数値で記入)		

DO			
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	に対する災害約	対象に就学時健康診断を実施するとともに、幼稚園及び学校管理下における事故災害 計付を行った。 建安全法に基づき児童生徒結核対策委員会、教職員結核審査会を開催した。
	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	でのような効果 きるだけ指標と	

CHECK				<u> </u>						
CHECK	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成2 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか									
		〇 進捗している(できている)		就学時健康診断の実施により小学校入学予定者の健康状態を把握						
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	し、心身ともに最良の状態で就学させることができた。 また、学校保健安全法に基づく児童生徒結核対策委員会、教職員結						
評価		× 遅れている(できていない)		核審査会を開催した。						
шТіш	効率に	性・・・DO(平成21年度事業の実績、	あるし	いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
		〇 削減の余地がなかった								
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	日本スポーツ振興センターの災害給付掛金が主である。医師報酬は 条例に基づくものであり、その他経費も必要最小限でありコスト削減の						
		× 削減の余地があった		余地は無い。						

ACTION									
ACTION	事業内容の方向性								
		A 現状維持							
	Α	B 内容の見直し	理由	幼児児童生徒及び教職員の健康の保持増進は、学校教育の充実を 図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。					
改善改善		C 統廃合·休止·終了		因るための金属となると事業であり、7度との他別する必要がある。					
以普	事業規模の方向性								
	В	A 事業拡大							
		B 現状維持	理由	今後、事業対象となる幼児児童生徒教職員数の減少が見込まれる が、同様の事業内容での継続が必要である。					
		C 事業縮小		ひ、下になり、子、木下に口、くくいではない。					

●平成21年度決算

	O 1 /// 1 // // //						
	j	歳出				歳入	
		節 金額(千円)			項目	名称	金額(千円)
١		1	1,023		国庫支出金		
		8	105		府支出金		
	予算科目	9	4	財	起債		
		11	144	源内	分担金·負担金		
		13	140	訳	その他		
		14	1				
		19	5,410				
					一般財源		6,827
	事業費合計 6,827			合計	6,827		

●平成22年度予算

平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)							
平成22年度 事業の効果目標									
j									
	節	金額(千円)		項目			名称	金額(千円)
						庫支出金			
			財源		府支出金				
					起債				
予算科目				源 内	分担金·負担金				
				訳	その他				
						般財源			
事業費合計						合計			1

1 17	·成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
7		一般会計	10	01	02	05	01
	細事業名	学校医委嘱事業					

整理番号

■ 事務事業評価

総合計画 (前期基本計画)	PLAN	基本方針	(政策)	₩ 生涯学習都市			
施策方針 3 学力の向上と心身の育成 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	(前为基本計画)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成	·-		
	事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	学校保健安全 剤師を委嘱し、 る。	と法に基づき、幼稚園及び小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬 幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進を	平成26年 事業の効果	度 うな効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	

DO		•
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	幼稚園及び小中学校に学校医17人、学校歯科医17人、学校薬剤師14人を委嘱し、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。 また、新型インフルエンザ流行時には、拡大防止に向け学校・学級閉鎖の時期等、適切な助言を受けることができた。
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	

CHECK									
CHECK	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか								
		〇 進捗している(できている)							
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、幼児児童生徒の健 康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。					
評価		× 遅れている(できていない)							
at IIII	効率	生・・・DO(平成21年度事業の実績、		\は効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
		〇 削減の余地がなかった							
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	条例等に基づく医師報酬や費用弁償であり、コスト削減の余地は無					
		× 削減の余地があった	4年田	L\°					

ACTION				•		
ACTION	事業に					
		A 現状維持				
A	Α	B 内容の見直し	理由	幼児児童生徒の健康管理、教育現場の衛生管理は、学校教育の充 を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。		
北羊		C 統廃合·休止·終了		と四のための全地となると手来であり、「反との他別」の必要がある。		
以普	事業規模の方向性					
		A 事業拡大				
	В	B 現状維持	理由	今後、事業対象となる幼児児童生徒数の減少が見込まれるが、同様 の事業内容での継続が必要である。		
		C 事業縮小		のデストッセスの一般が必要である。		
	改善	事業(A 事業)	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 理由		

●平成21年度決算

担当部局

教育委員会事務局

担当課等 学校教育課

●十成乙十千及次多	//-					
į	歳出				歳入	
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
	1	34,561		国庫支出金		
	9	40		府支出金		
			財	起債		
予算科目			源内	分担金·負担金		
			訳	その他		
				一般財源		34,601
事業費合計		34,601		合計		34,601

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基	本計迪	()の施策方針						
平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)						
平成22年度 事業の効果目標	果をた	22年度に、どん ごすか。できるが で記入)						
歳出			歳入					
	節	金額(千円)			項目	名称	金額(千円)	
				国原	車支出金			
				府	支出金			
			財源	起債				
予算科目			□ 凛 □ 内	分	担金·負担金			
			訳	その	の他			

一般財源

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 10
 01
 02
 06
 01

 細事業名
 学務経費

整理番号

■ 事務事業評価

PLAN	基本方針	(政策)	Ⅳ 生涯学習都市				
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	② 学校教育の充実				
(刑规基本計画)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成	<u></u>			
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	進するため、教	カの向上を図り、児童生徒の学力向上と問題行動・不登校対策等を 枚員研修や教育相談を実施するとともに、児童生徒が心にゆとりを持 活を送るための環境づくりや就学指導を進める。	促 平成26年度 事業の効果目	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)		

DO			•
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	の児童生徒の	象に教育大学教授による授業実践力開発講座を開催し、問題行動や不登校(傾向含む) 担任・保護者を対象に専門家による教育相談を実施した。 とりを持つ環境づくりとして、小中学校音楽フェスティバルや特別支援学級ふれあい交流
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	ごのような効果 きるだけ指標と	音楽フェスティバルには、各校が数年おきに参加することとなっており、小学校5校、中学校1校、ブラスバンド6校が参加した。また、ふれあい交流会へは市内の特別支援学級在籍の児童生徒が参加した。通常授業以外での学習の場が設定できた。

CHECK										
OFFICER	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成2 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか									
		〇 進捗している(できている)		教員の指導力向上のためには、専門家による教員研修や教育相談は						
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	極めて有効な取り組みであり、各種行事の実施は児童生徒の学校生 の充実にも寄与している。 事業効果の早期具現化は困難だが、今後の一定効果の積み重ね」						
評価		× 遅れている(できていない)		期待したい。						
	効率	生・・・DO(平成21年度事業の実績、	あるし	あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
		〇 削減の余地がなかった								
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	講師謝礼や教育相談委託料が中心であり、必要最小限の経費で実施						
		× 削減の余地があった	埋田	しているため、削減の余地は無い。						

ACTION					
ACTION	事業	内容の方向性			
		A 現状維持			
	Α	B 内容の見直し	理由	教員の指導力向上は普遍的かつ継続的な課題であり、今後とも継続 した取り組みが必要である。	
改善		C 統廃合·休止·終了		O/これ //illo///	
以告	事業	規模の方向性			
		A 事業拡大		不登校の児童生徒が増加傾向にあるため、新たに不登校対策支援員	
	Α	B 現状維持		を配置し、学校と家庭との連携強化を図りながら問題解消に取り組みたい。また、障害のある幼児児童生徒の現状を的確に把握しながら就学	
		C 事業縮小		指導の充実も検討したい。	

●平成21年度決算

担当部局

教育委員会事務局

担当課等

学校教育課

	●十成乙十千及次多										
	j	歳出			歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
,		8	180		国庫支出金						
		11	320		府支出金						
		12	61	財	起債						
	予算科目	13	2,172	源内	分担金·負担金						
		14	134	訳	その他						
		19	220								
					一般財源		3,087				
	事業費合計		3,087		合計		3,087				

●平成22年度予算

事業費合計

● 1 次22 十 及 1 9	<i>7</i> -				-			
総合計画(後期基	本計画	()の施策方針						
平成22年度 (何を対象に、 事業の概要 何をするか)								
平成22年度 事業の効果目標)ような ごけ指標							
j	歳出		歳入					
	節	金額(千円))		項目	名称	金額(千円)	
				国庫支出金				
					支出金			
			財源	起	 債			
予算科目			源内	分	担金·負担金			
					の他			
			- "``					
				=	般財源			

会計名称 細事業 款 項 П 事業 平成21年度予算 教育委員会事務局 一般会計 10 01 02 12 01 細事業名 教科用図書採択事業

整理番号 学教 7

■ 事務事業評価

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	(政策)	IV 生涯学習都市 ② 学校教育の充実			
	施策方針		3 学力の向上と心身の育成			
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	小中学校にお 教科用図書選	らいて使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を図るため、学校 定委員会を設置し、調査・研究を行う。	平成26年度 事業の効果目	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	

DO			•	i
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	中学校で使用	する歴史教科書の新刊があったため、選定委員会を設置して調査・研究を行った。	
	(実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)		選定委員会の答申を受けて、市教育委員会としての教科書採択を行った。	

CHECK							
CHECK	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の実 効果目標)の達成に向けて		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の に進捗したか			
		〇 進捗している(できている)					
C		▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	国の関係法令に基づき、設置が義務付けられているものである。			
評価		× 遅れている(できていない)					
	効率	生・・・DO(平成21年度事業の実績、	あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
		〇 削減の余地がなかった					
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	委員謝金は市の非常勤特別職に準じており、また、旅費は費用弁償で			
		× 削減の余地があった	华田	あるためコスト削減の余地は無い。			

ACTION										
ACTION	事業内容の方向性									
		A 現状維持								
改善	Α	B 内容の見直し	理由	国の関係法令に基づき、設置が義務付けられているものであり、改善 の余地は無い。						
		C 統廃合·休止·終了		02 W-510 WC 0						
以普	事業規模の方向性									
		A 事業拡大								
	В	B 現状維持	理由	司 同上						
		C 事業縮小								

●平成21年度決算

担当部局

担当課等

学校教育課

○ 1 /2 - 1 /2 // 3									
į	歳出		歳入						
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
	8	16		国庫支出金					
	9	8		府支出金					
			財	起債					
予算科目			源内	分担金·負担金					
			訳	その他					
				一般財源		24			
事業費合計		24		合計		24			

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基	本計画	i)の施策方針						
平成22年度 事業の概要								
平成22年度 事業の効果目標	果をた	22年度に、どん ごすか。できるが で記入)						
į	歳出		歳入					
	節	金額(千円)			項目	名称	金額(千円)	
				国	庫支出金			
				府支出金				
			財源内	起				
予算科目			源内	分	担金·負担金			
			訳って		の他			

一般財源

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 10
 02
 01
 04
 01

 細事業名
 児童教職員健康管理事業

担当部局 教育委員会事務局 担当課等 学校教育課

整理番号 学教 9

■ 事務事業評価

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	(政策)	IV 生涯学習都市 ② 学校教育の充実			
(III) WIEL-T-BT EI)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成			
	(どのような目的で事業を実施するか)	児童、教職員 <i>の</i>)健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。	平成26年度 事業の効果目	こか効甲 たださか できるだ	検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。 もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。

	DO			
	平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	生管理、その他 なお、新型イン た。	会法等関係法令に基づき、市内小学校31校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛 2保健指導・安全対策を行った。 レフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じ 等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。
	平成21年度	(実績により、と	のような効果	検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。
ı	事業の効果	があったか。で 数値で記入)	さるたけ指標と	

CHECK				
CHECK	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の写 効果目標)の達成に向ける		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の に進捗したか
		〇 進捗している(できている)		
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。
評価		× 遅れている(できていない)		
	効率	生・・・DO(平成21年度事業の実績、	あるし	\は効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
		〇 削減の余地がなかった		
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の
		× 削減の余地があった	华田	余地はない。

ACTION		•								
ACTION	事業内容の方向性									
	A 現状維持	***************************************								
	A B 内容の見直し									
北羊	C 統廃合·休止·終了	1次的に関しては、文的してする。								
以告	事業規模の方向性									
	A 事業拡大									
	B 現状維持									
	C 事業縮小	」 「								
改善	A B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B B 現状維持	快診に関しては、交診しやすい環境プペッにも配慮する。 日音								

●平成21年度決算

● 1 級						
į	歳出				歳入	
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
	8	72		国庫支出金		
	11	2,048		府支出金		
	13	8,017	財	起債		
予算科目	14	682	源内	分担金·負担金		
	18	204	訳	その他		
				一般財源		11,023
事業費合計		11,023		合計		11,023

●平成22年度予算

平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)					
平成22年度 事業の効果目標	果をた	22年度に、ど ごすか。できる で記入)					
j	歳出					歳入	
	節	金額(千円))		項目	名称	金額(千円)
				1	国庫支出金		
				J	守支出金		
				財源	记債		
予算科目				源 内	∱担金・負担金		
					その他		
				-	-般財源		
事業費合計		I			合計		

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 10
 02
 02
 01
 01

 細事業名
 小学校教育振興事業

整理番号

■ 事務事業評価

PLAN	基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市					
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	② 学校教育の充実					
(前列基本計画)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成					
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	学校、家庭、 然体験活動を	地域との連携を深めながら、学習活動はもちろん、社会奉仕活動、自 通して豊かな人間性の育成に努める。	平成26年原 事業の効果	度 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)			

DO		
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	でする消耗品費等のほか、校外での社会見学や体験活動等に要するバス利用の支援、学児童44人に対しバス通学費等への補助を行った。
平成21年度 事業の効果	(実績により、ど があったか。でき 数値で記入)	具体的な指標設定は困難であるが、校外での社会見学や体験活動を行うことが、 児童の心身の育成を図る有効な手段となっている。

CHECK				
CHECK	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の9 効果目標)の達成に向け		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の に進捗したか
		〇 進捗している(できている)		
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	学校外での様々な学習活動が可能となり、また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。
評価		× 遅れている(できていない)		
рт іш	効率	性・・・DO(平成21年度事業の実績、	あるし	\は効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
		〇 削減の余地がなかった		
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動を展
		× 削減の余地があった	- 生田	開しており、コスト削減の余地は無い。

ACTION						
ACTION	事業に	内容の方向性				
		A 現状維持		火工人用作の土板中南大側は土工ド 社員共和工の ウの伊莱老兵		
	Α	B 内容の見直し	理由	当面は現状の支援内容を継続するが、校外学習での一定の保護者負担もあることから、一層の充実を検討することが必要である。		
改善改善		C 統廃合·休止·終了		ie ob acció se la oblecció se cosas		
以普	事業規模の方向性					
		A 事業拡大				
	В	B 現状維持	理由	同上		
		C 事業縮小				

●平成21年度決算

担当部局

教育委員会事務局

担当課等

学校教育課

●十成乙十千及人	/-								
į	歳出		歳入						
	節 金額(千円)			項目	名称	金額(千円)			
	8	1,520		国庫支出金					
	11	13,765		府支出金					
	13	2,540	財	起債					
予算科目	14	1,720	源内	分担金·負担金					
	19	686	訳	その他					
				一般財源		20,231			
事業費合計		20,231		合計		20,231			

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基本計画)の施策方針

平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)							
平成22年度 事業の効果目標 数値で記入)									
歳出				歳入					
	節	金額(千円)			項目	名称	金額(千円)		
				国	庫支出金				
				府	支出金				
			財源	起	債				
予算科目				分	担金•負担金				
			訳	そ(の他				
				_	般財源				

17	成21年度圣質	会計名称	款	項	目	事業	細事業	
平成21年度予算		一般会計	10	02	02	02	01	
細事業名 小学校教育振興備品整備事業								
	- 神子木石	7. 一大大村派光师叫正师于木						

整理番号 学教 11

■ 事務事業評価

平成21年度

事業の実績

PLAN	# 1 41	(=l hde)	THE ALL AND AND AND ADDRESS.		1	
₩ Δ=1. E	基本方針	(政策)	Ⅳ 生涯学習都市			
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	② 学校教育の充実			
(的例至年間日)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成			
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	で事業を実に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向よ		的 平成26年 事業の効果	:度 :日標 !日標 !け指標と数値で記入)	

DO

市内31小学校に教材備品や学校図書を整備した。

図書購入は、全校で5.737冊である。

(実績により、どのような効果 平成21年度 事業の効果

(何を対象に、

何をしたか)

国の基準に沿って不足している教材備品や学校図書の整備を進めているもの。 があったか。できるだけ指標と教材備品や図書の購入が、児童の活動への意欲や読書活動の充実に繋がっている。

数値で記入)

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか

> 〇 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている Ο 理由 (少しできていない) × 遅れている(できていない)

理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整 備を進めている。 教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困

効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった Ο

× 削減の余地があった

限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。

ACTION

改善

評価

事業内容の方向性 A 現状維持 国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整 A B 内容の見直し 備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。 C 統廃合·休止·終了

事業規模の方向性

A 事業拡大 B B 現状維持 理由 同上 C 事業縮小

●亚成21年度決質

担当部局

教育委員会事務局

担当課等 学校教育課

●干成乙十千及次											
j	歳出			歳入							
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)					
	11	383		国庫支出金	理科教育設備整備費等補助金	4,939					
	13	89		府支出金							
	18	30,260	財起債								
予算科目			源内	分担金·負担金							
			訳	その他							
				一般財源		25,793					
事業費合計		30,732		合計		30,732					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針 平成22年度 (何を対象に、 何をするか) 事業の概要 (平成22年度に、どのような効 平成22年度 果をだすか。できるだけ指標と 数値で記入) 事業の効果目標

j	歳出				歳入	
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
				国庫支出金		
				府支出金		
			財源	起債		
予算科目			源 内	分担金·負担金		
			訳	その他		
				一般財源		
事業費合計			合計			

会計名称 款 項 目 事業 細事業 平成21年度予算 一般会計 02 02 教育委員会事務局 03 01 10 小学校就学援助事業 細事業名

整理番号 学教 12

■ 事務事業評価

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目		IV 生涯学習都市 ② 学校教育の充実				
(11111111111111111111111111111111111111	施策方針		3 学力の向上と心身の育成				
事業の目的		な児童の保護	機会均等に資するため、経済的理由又は心身障害によって就学困費者に対して学用品費等を補助することにより就学の負担を軽減し、/ な教育が実施されることを目的とする。	度 うな効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)			

DO (何を対象に、 何をしたか) 経済的埋田メは心対性ロンストライン (何をしたか) 経済的埋田メは心対性ロンストライン たっ 要保護認定者18人、準要保護認定者283人、特別支援教育就学奨励費支給51人。 経済的理由又は心身障害によって就学困難な児童の保護者に対して学用品費、給食費等を補助し 平成21年度 事業の実績 認定者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。 (実績により、どのような効果 平成21年度 があったか。できるだけ指標と数値で記入) 事業の効果

CHECK											
CHECK	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか										
		〇 進捗している(できている)									
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減 することができた。							
評価		× 遅れている(できていない)									
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか										
		〇 削減の余地がなかった									
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	対象となる児童の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令							
		× 削減の余地があった	-	に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。							

	ACTION				•					
L	ACTION	事業内容の方向性								
			A 現状維持	理由						
		В	B 内容の見直し		申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。					
	改善		C 統廃合·休止·終了							
	以告	事業規模の方向性								
			A 事業拡大		補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があっ					
		Α	B 現状維持		たクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方					
			C 事業縮小		向で検討する。(補正予算計上予定)					

●亚成91年度沖質

担当部局

担当課等

学校教育課

●十成乙十千及人	+										
į	歳出			歳入							
	節 金額(千円)			項目	名称	金額(千円)					
	20	18,234		国庫支出金	就学援助費補助金等	580					
				府支出金							
			財	起債							
予算科目			源内	分担金·負担金							
			訳	その他							
				一般財源		17,654					
事業費合計 18,234			合計	18,234							

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基本計画)の施策方針

心口可图(及为至不可图/07/00次7]到							
平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)					
平成22年度 事業の効果目標	果をた	22年度に、どの ごすか。できるた で記入)					
歳出						歳入	
	節	金額(千円)			項目	名称	金額(千円)
				国原	車支出金		
				府支出金			
			財	起债	į		
予算科目			財源内	分技	旦金・負担金		
			訳	その	D他		

一般財源

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 10
 02
 02
 04
 01

 細事業名
 小学校教育推進事業

担当部局 教育委員会事務局 担当課等 学校教育課

整理番号

■ 事務事業評価

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	(政策)	IV 生涯学習都市 ② 学校教育の充実				
	施策方針		3 学力の向上と心身の育成				
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	学校教育の充	実及び児童の基礎学力の向上	平成26年 事業の効果	度 うな効果る	F度までに、どのよ をだすか。できるだ 数値で記入)	

_	DO			•					
	平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	を配置し、発達 また、学校の 介護職員10杉	骨に実施し、きめ細かく行き届いた指導を行うために、複式学級のある学校に対し加配。 経達障害児に介護職員を配置した。(スクールサポーターの配置) その教育力を高め、効果を各校に波及させるために、各種指定事業に対して補助を行っ 10校に12人、心の教室相談員1校に1人、困難校加配3校に3人配置。 研究指定:文部科学省1校、京都府教委3校、市教委6校。					

	HECK										
	HECK	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか									
		0	〇 進捗している(できている)								
			▲ 少し遅れている (少しできていない)		スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、 指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。						
	評価		× 遅れている(できていない)								
	атіш	効率	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか								
			〇 削減の余地がなかった								
		0	▲ 少し削減の余地があった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校						
			× 削減の余地があった	理田	等の補助金として、コスト削減の余地はない。						

ACTION				<u> </u>
ACTION	事業Ⅰ	内容の方向性		
		A 現状維持		
	Α	B 内容の見直し	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。
北羊		C 統廃合·休止·終了		
以普	事業	規模の方向性		
	В	A 事業拡大		
		B 現状維持	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。
		C 事業縮小		
改善		規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図る

●平成21年度決算

Ī	į	歳出				歳入	
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
		4	3,404		国庫支出金		
		7	22,556		府支出金	京の子ども・夢木来体験活動補助金、外需語活動実践研究事業委託金	1,338
		8 31 財		起債			
	予算科目	9	9 107	分担金·負担金			
		11	726	訳	その他		
		19	3,727				
					一般財源		29,213
	事業費合計		30,551		合計		30,551

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基本計画)の施策方針

平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)						
平成22年度 事業の効果目標	果をた	(平成22年度に、どのよ 果をだすか。できるだけ 数値で記入)						
	歳出					歳入		
	節	金額(千円))		項目	名称	金額(千円)	
				国	庫支出金			
				府	支出金			
			ļ	財起	債			
予算科目			7	^源 分	担金•負担金			
					の他			
				_	般財源			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 10
 03
 01
 04
 01

 細事業名
 生徒教職員健康管理事業

整理番号 学教 15

■ 事務事業評価

PLAN							
	基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市				
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	② 学校教育の充実				
(前列基本計画)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成				
	(どのような目的で事業を実施するか)	生徒、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。		平成26年 事業の効果	尽 ふかか甲ただ	すか。できるだ	検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。 もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO			
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	生管理、その他なお、新型インた。	全法等関係法令に基づき、市内中学校9校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛 2保健指導・安全対策を行った。 レフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じ 等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。
平成21年度	(実績により、どがあったか。で	.のよりは効木	検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。
事業の効果	数値で記入)		

	CHECK								
ľ	CHECK	■ 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
			〇 進捗している(できている)	理由					
		0	▲ 少し遅れている (少しできていない)		学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。				
	評価		× 遅れている(できていない)						
		効率	生・・・DO(平成21年度事業の実績、	あるし	いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
			〇 削減の余地がなかった						
		0	▲ 少し削減の余地があった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の				
			× 削減の余地があった	垤田	余地はない。				

ION L				<u> </u>				
ON	事業に	内容の方向性						
		A 現状維持		**************************************				
	Α	B 内容の見直し	理由	学校設置者として生徒、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、 検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。				
改善 		C 統廃合·休止·終了		大学に対しては、文学しですい境場というにOnlineする。				
普	事業規模の方向性							
		A 事業拡大		4.4 ***********************************				
	В	B 現状維持	理由	生徒、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。				
		C 事業縮小		2) AND COLINA 1 23COCIO COLONO				
	盖	事業「 A 事業打	事業内容の方向性 A 現状維持 A B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持	事業内容の方向性 A 現状維持 理由 A B 内容の見直し で 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 理由				

●平成21年度決算

担当部局

教育委員会事務局

担当課等

学校教育課

		•								
ı	į	歳出			歳入					
I		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
ı		11	1,119		国庫支出金					
ı		13	4,592		府支出金					
ı		14	267	財	起債					
ı	予算科目	18	312	源内	分担金·負担金					
ı				訳	その他					
ı										
ı										
ı					一般財源		6,290			
	事業費合計		6,290		合計		6,290			

●平成22年度予算

WIND (DME		17 100						
平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)						
平成22年度 事業の効果目標	(平成22年度に、どの 果をだすか。できるだ 数値で記入)							
j	歳出					歳入		
	節	金額(千円)			項目	名称		金額(千円)
				国庫支出金				
				府:	支出金			
			財源	起	債			
予算科目			源内	分:	担金·負担金			
			訳	そ(の他			
					般財源			
事業費合計		I			合計			ı

会計名称 目 事業 細事業 平成21年度予算 一般会計 10 03 02 01 01 教育委員会事務局 細事業名 中学校教育振興事業

整理番号 学教 16

■ 事務事業評価

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	(政策) (施策)	IV 生涯学習都市 ② 学校教育の充実			
	施策方針		3 学力の向上と心身の育成			
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	学校、家庭、均 然体験活動を追	也域との連携を深めながら、学習活動はもちろん、社会奉仕活動、E Bして豊かな人間性を育成に努める。	ョ 平成26年 事業の効果	度 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	

DO		
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	でする消耗品費等のほか、校外での社会見学や体験活動、クラブ活動等に要するバス利費用の支援、また、遠距離通学生徒35人に対しバス通学費等への補助を行った。
平成21年度 事業の効果	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	具体的な指標設定は困難であるが、校外での社会見学や体験活動を行うことが、 児童の心身の育成を図る有効な手段となっている。

CHECK										
CHECK	目標達	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか								
		〇 進捗している(できている)								
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)		学校外での様々な学習活動が可能となり、クラブ活動も活発に取り組まれている。また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。						
評価		× 遅れている(できていない)								
	効率性	生・・・DO(平成21年度事業の実績、	あるい	いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
		〇 削減の余地がなかった								
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動・ク						
		× 削減の余地があった	埋田	ラブ活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。						
			, ,							

ACTION				•							
ACTION	事業に	事業内容の方向性									
		A 現状維持		当面は現状の支援内容を継続するが、校外学習や体育大会等への							
	Α	B 内容の見直し		選手派遣での一定の保護者負担もあることから、一層の充実を検討す							
		C 統廃合·休止·終了		ることが必要である。							
以普	事業規模の方向性										
		A 事業拡大									
	В	B 現状維持	理由	同上							
		C 事業縮小									
	改善	事業に A 事業類	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持	事業内容の方向性 A 現状維持 理由 A 現状維持 B 内容の見直し 理由 C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 理由							

●平成21年度決質

担当部局

担当課等

学校教育課

	1 版21 干区外开										
	į	歳出		歳入							
I		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
,		8	1,745		国庫支出金						
		11	10,942		府支出金						
		13	7,766	財	起債						
	予算科目	14	14 6,360 広	源内	分担金·負担金						
		19	3,833	訳	その他						
				一般財源		30,646					
ĺ	事業費合計		30,646		合計		30,646				

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基)	本計画)の施策方針					
平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)					
平成22年度 事業の効果目標 数値で記入)							
Ĭ.	歳出					歳入	
	節	金額(千円))		項目	金額(千円)	
				国	庫支出金		
				府	支出金		
			財	起	 債		
予算科目			財源内	分	担金·負担金		
			一訳	-	<u></u> の他		
			ш				金額(千円)
				=	般財源		

17	安計名称 款 項 一般会計 10 03 細事業名 中学校教育振興備品整備事業	目	事業	細事業	担当部局			
T	成21年及了异	一般会計	10	03	02	02	01	教育委員会事務局
ĺ	細車業名	山学坛教育集卿佛具敕 [#車業					担当課等
	州尹 未石	中于仪教育旅典鳩如金	用尹木					学校教育課

整理番号 学教 17

■ 事務事業評価

事業の実績

総合計画 (前期基本計画) 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 (どのような目 授業に必要な教材備品を整備し学習活動の支援を行う。また、学校図書を計画的 双はの6年度 (平成26年度までに、どのよ	PLAN	基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市					
施策方針 3 学力の向上と心身の育成 (どのような日 授業に必要な教材備品を整備し学習活動の支援を行う、また、学校図書を計画的 (平成26年度までに どのよ		計画項目	(施策)	② 学校教育の充実					
(どのような目 授業に必要な教材備品を整備し学習活動の支援を行う。また、学校図書を計画的 平成は00年度までに、どのよ	(前两本本計画)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成					
事業の目的 的で事業を実 に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を 事業の効果目標 うな効果をだすか。できるだ 事業の効果目標 け指標と数値で記入)	事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	授業に必要なに整備し、生徒図る。	な教材備品を整備し学習活動の支援を行う。また、学校図書を計画 まの主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向」	的 平成26年度 事業の効果目	「平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)			

DO -		
平成21年度	(何を対象に、	市内9中学校に教材備品や学校図書、

× 削減の余地があった

(何を対象に、 市内9中学校に教材備品や学校図書、クラブ活動に必要な楽器、器具類を整備した。 図書購入は、全校で2,262 冊である。

(実績により、どのような効果 平成21年度 事業の効果

何をしたか)

国の基準に沿って不足している教材備品や学校図書の整備を進めているもの。 があったか。できるだけ指標と 数はで記入) 数値で記入)

限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。

┙	CHECK											
	CHECK	目標	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか									
			〇 進捗している(できている)		理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整							
		0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	埋田	備を進めている。 教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるの							
	評価		× 遅れている(できていない)		難。							
	ат іш	効率	性・・・DO(平成21年度事業の実績、	いは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか								
			〇 削減の余地がなかった									
			▲ 少し削減の余地があった	理由	明られた予算の範囲内での整備のため、削減の全地は無い							

ACTION										
ACTION	事業内容の方向性									
		A 現状維持								
	Α	B 内容の見直し	理由	国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整 備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。						
改善		C 統廃合·休止·終了		開きためることでするが、 信めた犬を挟むすることが必要である。						
以告	事業規模の方向性									
		A 事業拡大								
	В	B 現状維持	理由	同上						
		C 事業縮小								

●平成21年度決質

	- 1 WZ 1 T IZ IV #											
١	į	歳出			歳入							
I		節 金額(千円)		項目	名称	金額(千円)						
١		11	601		国庫支出金	理科教育設備整備費等補助金	3,416					
		12	225		府支出金							
١		13	31	財	起債							
١	予算科目	18	19,215	源内	分担金·負担金							
١		訳		その他								
ı												
ı												
ı					一般財源		16,656					
	事業費合計		20,072		合計		20,072					

●平成22年度予算	平成22年度予算										
総合計画(後期基	本計画	i)の施策方針									
平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)									
平成22年度 事業の効果目標											
j	歳出					歳入					
	節	金額(千円))		項目	名称	金額(千円)				
			国		庫支出金						
					±11.4						

j	歳出			歳入						
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
				国庫支出金						
				府支出金						
			財源	起債						
予算科目			内	分担金·負担金						
			訳	その他						
				一般財源						
事業費合計				合計						

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 10
 03
 02
 03
 01

 細事業名
 中学校就学援助事業

整理番号学教 18

■ 事務事業評価

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	(政策)	IV 生涯学習都市 ② 学校教育の充実			
(1),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	施策方針		3 学力の向上と心身の育成			
事業の目的		業を実な生徒の保護者に対して学用品費等を補助することにより就学の負担を軽減し、「			度 うな効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	

PO 平成21年度 事業の実績 (何を対象に、 何をしたか) 経済的理由又は心身障害によって就学困難な生徒の保護者に対して学用品費、給食費等を補助した。 要保護認定者18人、準要保護認定者225人、特別支援教育就学奨励費支給17人。 平成21年度 事業の効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)

CHECK							
CHECK	目標達	達成度・・・DO(平成21年度事業の写 効果目標)の達成に向けて		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の に進捗したか			
		〇 進捗している(できている)					
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減 することができた。			
評価		× 遅れている(できていない)					
	効率性	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
		〇 削減の余地がなかった					
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令			
		× 削減の余地があった		に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。			

ACTIO	IAC				•
ACTIO	אל	事業に	内容の方向性		
			A 現状維持		
		В	B 内容の見直し	理由	申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面 から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。
改善			C 統廃合·休止·終了		
以告	•	事業規	現模の方向性		
		A	A 事業拡大		補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があっ
			B 現状維持		たクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方
			C 事業縮小		向で検討する。(補正予算計上予定)

●平成21年度決算

担当部局

教育委員会事務局

担当課等

学校教育課

●十成乙十千及人	7					
į	歳出				歳入	
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
	20	22,448		国庫支出金	就学援助費補助金等	445
				府支出金		
			財	起債		
予算科目			源内	分担金·負担金		
			訳	その他		
				一般財源		22,003
事業費合計 22,448			合計		22,448	

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基本計画)の施策方針

平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)							
平成22年度 事業の効果目標	(平成22年度に、どの 果をだすか。できるだ 数値で記入)								
	歳出			歳入					
	節	金額(千円)			項目	名称	金額(千円)		
				国	庫支出金				
				府	支出金				
			財	起					
予算科目			財 一 源 — 内	分	担金·負担金				
			訳	そ	の他				
				_	般財源				

会計名称 細事業 款 項 目 事業 平成21年度予算 一般会計 03 02 04 01 教育委員会事務局 10 中学校教育推進事業 細事業名

整理番号 学教 19

■ 事務事業評価

PLAN					_		
	基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市	1			
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	② 学校教育の充実				
(前列至不可四)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成				
事業の目的	(どのような目 的で事業を実 施するか)	学校教育の3 生徒の支援	充実、生徒の基礎学力の向上及び不登校の未然防止や保健室登校	平成26年 事業の効果	干燥 うき	平成26年度までに、どのよ な効果をだすか。できるだ け指標と数値で記入)	

DO		-	
平成21年度 事業の実績		校の未然防止や、保健室登校の生徒の支援のた ーターの配置)	=
平成21年度 事業の効果	(実績により、ど があったか。でき 数値で記入)		

CHECK				<u> </u>				
CILCR	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の写 効果目標)の達成に向けて		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の に進捗したか				
		〇 進捗している(できている)						
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)		スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、 指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。				
評価		× 遅れている(できていない)						
	効率に	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
		〇 削減の余地がなかった						
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校				
		× 削減の余地があった	华田	等の補助金として、コスト削減の余地はない。				

ACTION				•
ACTION	事業に	内容の方向性		
		A 現状維持		
	Α	B 内容の見直し	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。
北羊		C 統廃合·休止·終了		
以普	事業	規模の方向性		
		A 事業拡大		今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。
	В	B 現状維持	理由	
		C 事業縮小		
	改善	本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持	事業内容の方向性 A 現状維持 理由 A 現状維持 B 内容の見直し 理由 C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 理由

●平成21年度決算

担当部局

担当課等

学校教育課

į				歳入					
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
	4	2,053		国庫支出金					
	7	11,744		府支出金	京の子ども・夢未来体験活動補助金	504			
	11	110	財	起債					
予算科目	19	2,173	源内訳	分担金·負担金					
				その他					
				一般財源		15,576			
事業費合計 16,080			合計		16,080				

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基本計画)の施策方針

平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)							
平成22年度 事業の効果目標	田太ナ	のような だけ指標							
	歳出			歳入					
	節	金額(千円)			項目	名称	金額(千円)		
				国	庫支出金				
				府	支出金				
			財源	起	債				
予算科目			』	分	担金•負担金				
			訳	そ	の他				
				-	般財源				

会計名称 細事業 担当部局 款 項 目 事業 平成21年度予算 一般会計 10 04 01 02 01 教育委員会事務局 担当課等 細事業名 幼稚園管理運営事業 学校教育課

整理番号

■ 事務事業評価

PLAN							
	基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市				
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	② 学校教育の充実				
(前列至不可巨)	施策方針		3 学力の向上と心身の育成				
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	市内の3幼稚 とを基本とし、近 培う教育環境を	園を管理運営し、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して教育を行 遊びや体験的な活動を通した総合的な指導により、人格形成の基 整える。	うこ 平成26年 夢業の効果	理度 (平成26年度を うな効果をだけ指標と数値	までに、どのよ すか。できるだ で記入)	

DO			
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)		園に講師2人(臨時職員) やスクールサポーター3人(介護職員)等を配置するとともに、管 経常経費の支出を行った。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)		

CHECK									
CHECK	目標证	達成度・・・DO(平成21年度事業の実 効果目標)の達成に向けて		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の に進捗したか					
		〇 進捗している(できている)							
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	幼稚園における円滑な教育実践と運営管理がほぼできている。					
評価		× 遅れている(できていない)							
a干1W	効率	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
		〇 削減の余地がなかった							
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	教材や老朽化した備品の更新等も抑制する中で、これ以上のコスト削					
		× 削減の余地があった	埋田	減の余地は無い。					

ACTION				•				
ACTION	事業区	内容の方向性						
		A 現状維持		****				
	Α	B 内容の見直し	理由	事業内容は現状維持としても、教材や老朽化した備品の更新等を計 画的に進める必要がある。				
35. 羊		C 統廃合·休止·終了		画面に にいるが女がのる。				
以普	事業規模の方向性							
		A 事業拡大						
	Α	B 現状維持	理由	保育所の統廃合計画の進捗に合わせ、就学前教育の場として、各町1 幼稚園設置を視野に入れる必要がある。				
		C 事業縮小		タコド国民 中で アココーン・イックグ・メル めっしゃ				
	金齿	事業内 A 改善事業表	事業内容の方向性 A 現状維持 A B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持	事業内容の方向性 A 現状維持 理由 A B 内容の見直し 定 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 A B 現状維持 理由				

●平成21年度決算

	歳出				歳入	
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
	4	1,044		国庫支出金	幼稚園就園奨励費補助金	32
	7	8,317		府支出金		
	9	323	財	起債		
予算科目	11	3,185	源内	分担金·負担金		
	12	260	訳	その他	幼稚園保育料	2,144
	13	943				
	18	370				
	その他	285		一般財源		12,551
事業費合計		14,727		合計		14,727

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基本計画)の施策方針

平成22年度 事業の概要		を対象に、 をするか)						
平成22年度 事業の効果目標 数値で記入)								
	歳出			歳入				
	節	金額(千円)			項目	ŕ	5称	金額(千円)
				国厂	車支出金			
				府	支出金			
			財	起	責			
予算科目			財源内	分	担金·負担金			
			訳	その	の他			
				— f	般財源			

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 10
 04
 01
 04
 01

 細事業名
 園児等健康管理事業

担当部局 教育委員会事務局 担当課等 学校教育課

整理番号 学教 21

■ 事務事業評価

PLAN 総合計画 (前期基本計画)	基本方針計画項目	(政策)	IV 生涯学習都市 ② 学校教育の充実			
(III)WIED-T-BTED	施策方針		3 学力の向上と心身の育成			
	(どのような目的で事業を実施するか)	園児の健康の何	呆持増進を図り、就学前教育を円滑にする。	平成26年度 事業の効果目	うた効甲ただすか できるだ	検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。 もって、幼稚園教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO			
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	その他保健指 なお、新型イ た。	主法等関係法令に基づき、市内幼稚園3園の園児を対象に、健康診断、保健衛生管理、 尊・安全対策を行った。 ンフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じ 衛生消耗品等を購入した。
平成21年度	(実績により、と		検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。
事業の効果	があったか。で 数値で記入)	さるたけ指標と	

CHECK								
OFFICIAL	目標道	達成度・・・DO(平成21年度事業の多 効果目標)の達成に向けて		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の に進捗したか				
		〇 進捗している(できている)						
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。				
評価		× 遅れている(できていない)						
	効率性	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
		〇 削減の余地がなかった						
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の				
		× 削減の余地があった	埋田	余地はない。				

ACTION							
ACTION	事業に	内容の方向性					
		A 現状維持		学校設置者として幼稚園園児の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。			
	Α	B 内容の見直し	理由				
北羊		C 統廃合·休止·終了					
以普	事業	事業規模の方向性					
		A 事業拡大		₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩			
	В	B 現状維持	理由				
		C 事業縮小		十刻元元と『別に另のる。			
改善		A 事業拡大 B 現状維持	理由	検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き 早期発見と予防に努める。			

●平成21年度決算

●十成乙十千及人	7					
į	歳出				歳入	
	節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)
	11	77		国庫支出金		
	13	103		府支出金		
	18	82	財	起債		
予算科目			源内	分担金·負担金		
			訳	その他		
				一般財源		262
事業費合計		262		合計		262

●平成22年度予算

事業費合計

総合計画(後期基本計画)の施策方針

でロロロへ区が生	- 1 - 14 - 1	17 - 7 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10					
平成22年度 事業の概要 (何を対象に、 何をするか) (平成22年度に、どのよ 果をだすか。できるだけ 数値で記入)							
	歳出			歳入			
	節	金額(千円)			項目	名称	金額(千円)
				国	庫支出金		
				府:	支出金		
			財源	起	責		
予算科目			源为		担金·負担金		
			訳	そ(の他		
					般財源		